

12月議会安道よし子の一般質問

「入間高校」が廃校に!!

県は全日制高校を139校から133校に減らす計画を発表。入間高校が廃校の対象となっており、今年度が最後の生徒募集になる見込みです。

景気の低迷で公立高校への受験生は増加傾向です。

「入間高校の存続」と計画の見直しを県に求めるべき

私は「社会の変化に対応した計画見直しと、入間高校の存続を県に求めるべき」と教育長の認識を質しました。

教育長は、「高校の適正規模は6クラス程度で、入間高校は4クラス。廃校になるのは仕方がない」と答弁。

入間高校の入学生徒の半数は、市内中学校から進学しており、廃校になったら、今後、生徒の進学先はどのように確保されるのかが問題です。教育長

は、「近隣の高校で対応できる」と答えましたが、定員の拡大はありません。

「教育の責任は親にある」と無責任な教育長の答弁

私は「子どもの将来のためにも希望するすべての子どもたちに高校教育を保障すべき」と訴えると、教育長は「高校は全入である必要はない。中途退学するような意欲のない子は進学する必要はない」と、冷たい答弁でした。

私は、「子どもの自立を助けるのが教育の役割。義務教育で基礎学力をつけ、子どもの意欲を育むべき」と質すと、教育長は「教育の責任は親にある」と答弁。入間市の教育に責任をもつ教育長としての姿勢が問われます。



新型インフルエンザワクチン接種への助成が実現

新型インフルエンザワクチン接種が始まっています。接種費用は、1回目が3600円、2回目が2550円(1回目と異なる医療機関の場合は3600円)となっています。

優先接種対象者のうち、生活保護世帯と市民税非課税世帯、中国残留邦人

等支援給付制度の受給者の人は負担軽減措置が設けられ、無料で受けることができます。

12月議会でワクチン接種の助成拡大が実現しました。最終日、ワクチン接種助成事業に2021万9000円の予算が計上されました。



いつもはつらつ

安道^{あんどう}よし子の市議会通信

No. 18

2010年1月号



日本共産党市議会議員

新しい年を迎えいかがお過ごしでしょうか。日頃のご支援ご協力に深く感謝申し上げます。政権交代が行われ、自治体の在り方も問われます。「市民の暮らしを助ける市政」をめざし頑張ります。今年もよろしくお願ひいたします。



武蔵藤沢駅入り口の渋滞対策を

武蔵藤沢駅は、朝夕など送迎の車が多いため、駅前交番付近まで渋滞し、バスが時間通りに駅に入れない事態も生じています。駅を利用している方々



からは、改善を求める声が寄せ

られています。

私は、一般質問のなかで、「駅ロータリー内の交通安全からも渋滞緩和の対策が必要ではないか」と改善を求めました。

市長は、「駅は新しくなったばかりで、周辺は区画整理区域のため、新たに駐車場を設けるのは困難」と答弁。渋滞の実態を把握して改善すべきと求めると、市長は、「駅前交番そばの歩行者専用道路を車が通行できるよう改修したので、しばらく様子を見ながら、今後改善をはかりたい」と答えました。

みなさんの声を届け今年も頑張ります

安道よし子の連絡先

どんなことでもお気軽にどうぞ

電話・Fax 04(2962)8082

携帯 090(4811)0553

65歳以上の新規取得者切り捨て 12月定例市議会

障害者の福祉手当までも削減

12月議会には、条例、補正予算など20議案が提出され、全て可決・成立しました。

6000円の手当を年齢で差別

条例改正では、重度心身障害者福祉手当の一部改正が提出されました。

月額6000円の福祉手当について、精神障害者や超重度心身障害児に支給が拡大されるものの、それと一体に65歳以上の新規障害者手帳取得者には、この手当を支給しない内容です。

「福祉の切り捨て」に反対

共産党は、「高齢者は公的年金等控除の縮小など、相次ぐ税制改正で負担増を強いられている。今回、新たな65歳以上の人を切り捨てることは、高齢者にさらなる追い打ちをかけるもの。昨年度8億5千万円の黒字決算という市財政からも、財政難を理由に福祉を切り捨てることは認められない」と反対討論を行いました。

日本共産党以外の他会派の賛成多数で、重度心身障害者福祉手当の条例改正は可決されました。

一般会計・国保・高齢者医療・狭山台の20年度決算に反対

12月議会初日に、20年度決算の討論・採決が行われました。

共産党は、一般会計について、景気悪化のなか、構造改革路線を受け入れ、市民への負担増を続け、職員数の削減などを行う行財政改革プラン、学童保育料の引き上げを行ったことに反対しました。

国民健康保険では、全国的に問題になっている保険証の取り上げを続けているこ

と、保険税の年金天引きに反対しました。

後期高齢者医療については、75歳以上の高齢者に差別医療と負担増を強いる制度は、直ちに廃止すべきと主張しました。

狭山台土地区画整理事業については、市民生活が厳しさを増すなかで、一部の事業に莫大な税金を投入するよりも、市民の暮らしに予算をまわすべきとして、この事業にも反対しました。



「人間高校存続を求める意見書」は他会派の反対で実らず

共産党は、「人間高校の存続を求める意見書」の提案を行いました。

県は高校再編計画の一環として、人間高校と豊岡高校を統廃合する計画を提示。人間高校の生徒募集は、今年度が最後となります。人間高校に進学する生徒の半数は市内中学校の生徒で、地域にとってなくてはならない高校です。

憲法26条に教育を受ける権利が明記されており、希望する全ての子どもたちに高校教育を保障するべきです。

しかし、他会派の賛成が得られず、意見書の提出は実現しませんでした。

56条廃止の請願実らず

今議会に、2402名の署名とともに入間民主商工会から提出された請願は、共産党以外の会派の賛同を得られず、採択に至りませんでした。

請願の内容は、中小業者で働く家族従事者の給与を必要経費として認めない「所得税法56条」の廃止を要請し、国に意見書の提出を求めるものです。

小金井市をはじめ130議会で決議・意見書が提出されています。今回の不採択は、税金の申告者の55%を占める白色申告者の期待に背を向け、基本的人権、男女平等に反するものです。

共産党議員の一般質問

- 吉沢かつら議員 貧困対策・新型インフルエンザ対策
- 石田よしお議員 八ッ場ダム問題・道路補修
- 安道よし子議員 人間高校存続・武蔵藤沢駅渋滞対策
- 小出わたる議員 雇用対策・中橋付近歩道設置

日本共産党市議会報告

2010年1月 発行/日本共産党入間市議会議員団 連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883